

第1回 市民まちづくり研究会 ～開催記録～

- 開催日 平成19年8月21日(火)
- 時間 午後7時～午後9時
- 場所 小牧市役所 大会議室
- 次第
1. 開 会
 2. あいさつ
 3. 事務局紹介
 4. 総合計画の策定について
 5. 市民まちづくり研究会の目的・役割等について
 6. 小牧市の概況について
 7. グループ検討『小牧のまちづくりへの期待』
 8. 閉 会

出席者 委員：37名（市民29名、職員8名）
市長、事務局7名、コンサルタント（ランドブレイン㈱）3名

- 資 料
- ・市民まちづくり研究会 第1回資料
 - ・小牧市の現状
 - ・市民意向調査結果（概要版）
 - ・第5次小牧市総合計画
 - ・団体アンケート結果
 - ・市民懇談会開催結果

1. 開 会

2. あいさつ（中野市長）

市民まちづくり研究会に積極的にご参加いただきましてありがとうございます。

今年度から来年度にかけて、新しい総合計画を策定します。総合計画は、市民の意向にマッチした計画にすることが大切だと考えています。昨今では市民の皆さんに自主防犯組織を立ち上げていただき刑法犯が減少しています。市と市民が共に力をあわせ効率的・効果的に課題を解決していくことについても議論されなければならないと考えています。

市民まちづくり研究会では、市民の皆さんに小牧市のまちづくりについて、自由に話し合っただき、その意見を少しでも総合計画に活かしていきたいと思っています。8回にわたり大変な作業になると思いますが、皆様のご協力をお願いします。

3. 事務局紹介

- ・事務局、コンサルタントの紹介

4. 総合計画の策定について

- ・事務局より「総合計画の策定について」説明

5. 市民まちづくり研究会の目的・役割等について

- ・コンサルタントより「市民まちづくり研究会の目的・役割等について」説明

6. 小牧市の概況について

- ・コンサルタントより「小牧市の現状」「市民意向調査結果」を報告

7. グループ検討『小牧のまちづくりへの期待』

- ・コンサルタントより、本日のグループ検討の内容及び進め方を説明した。
- ・4つのグループに分かれて、「小牧のまちづくりへの期待」について各自で意見カードに意見を書き出し、自己紹介をしながら意見を発表した。
- ・出された意見カードについて話し合いながら整理・分類し、第2回以降にグループで話し合うテーマ（分野）を決めた。
- ・各グループから運営委員を1名選出した。
- ・グループでの話し合いの成果を代表者が発表した。
- ・意見の詳細は、次ページのとおり。

8. 閉 会



検討成果

< A グループ >

キーワード	意見
福祉・教育	教育の拡充
	子どもが伸び伸びと安心して遊べるまち
	少年達（中高生）が楽しめるレクリエーション施設が必要
	地域（区単位）で3～4世代にわたってあいさつが日常的にできるまちにする
	介護施設（低料金）まだまだ必要。無料、介護保険内に入ることでできる施設
	不登校児などへサポート
	規律ある学校づくり
	障害者就労支援など具体的に活動する組織（施設）づくり
	（ノーマライゼーション）健常者、障害者の共生（コミュニケーション）
	（発達）障害者（児）への支援を高めて自立できる町へ
	子育てと社会参加の両立、働く女性に産しやすい環境を
子育て支援、全ての子ども達に保育と医療	
障害者、障害児の福祉充実、社会参加	
交通	「交通弱者」にやさしい街を
	公共交通拡充、タクシー
	中心街（市内地区）以外への交通の確保
	安全な住環境づくり（防犯）
	交通安全の街づくり（不法駐車）
	道路の拡幅、歩道の新設
	防犯に対して子どもから老人までが意識しあえるまちにする
	街の整備、全ての人が出しやすいく街にする
ポイ捨てのないまちにしたい（みんなで道路のゴミ拾いをすれば、ゴミの数は減っていく）	
農業	農業の活性化
その他	「国籍の差」にとらわれない街を
	「男女の差」にとらわれない街を
	「情報弱者」にやさしい街を
	地域で健康に暮らせるまち
	ウォーキングやサイクリングが安全にできるコースを身近につくり、健康なまちづくりを
	イベント等を工夫して安心して快適なまちづくりをしていく（全市民参加を）
	小牧は市制が昭和30年からスタートし、約50年経て現在に至っている。大方において満足しているが今一特色がない。もっと真剣に深層的に考えるべき
	市のまちづくりはその時代の社会環境や市民の考える能力によりスタンスが異なる。多くの他の市、町をみることにより大きなポイントを勉強すべき
	長期なスパンと優れた崇高な目標を立ててほしい。要は、市民の考え方と実行の積み重ねによると思う
	緑豊かで夏に涼しいまち
	公共施設利用料金の無料化
	会館等の利用を進めてほしい
	市民参加を継続的にしていける仕組みづくりを。計画案づくりだけでなく検証するシステムまで必要
区長の負担を軽くしてほしい	



グループテーマ：人を大切にする街づくり

A グループ



B グループ



< Bグループ >

キーワード	意見
公共交通	自動車を使わなくてもよいスケールのまちづくり
	歩いて暮らせるまち
	10年後、自動車に乗らないで趣味に病院、買物に出かけられるような街にしたい(電車、バスの充実)
	公共交通による移動が容易なまち
	交通システムの統合、自転車と歩行者を中心に安全に移動できる道路(インフラ)の整備
住みたくなるまちづくり	住みたくなるまち
	ゆとりが感じられる町(芸術、美術、音楽)
	夢多き街でありたい(気楽な付き合いができる街、趣味のサークルなど文化サークル、コンサートホール等施設の充実)
安心・安全	安心して生活でき助け合える街
	安全で安心できるまち(防犯)
	災害時に助け合えるまち
	老人の安心できる福祉と施設が整ったまちづくり
	高齢化に向けて健康を維持できるシステム
文化振興	文化など人が集まるまちづくり
	小牧市の目玉づくり、山、史跡を活かした
	中心市街地に、外にいて快適であるような施設を
	学校の森づくり
コミュニティの形成	良好な地域のコミュニティが形成されたまち
	子育てと教育の充実した町づくり
	日本人、外国籍市民の住民間に差別のない平等な市民生活ができる街
農業	活力ある農業のある町づくり
	地産地消の実現、農地の有効利用(NPOによる農業等)
産業構造の転換	工業都市 ソフト中心の街づくり、量 質への転換
	企業誘致で活力ある町づくり
健全な財政	ピーチライナーの件、将来的にピーチライナーはどのようになるのか、撤去するのか、活用するのか
	財政は市民生活の基本であり健全度の確約された市政



グループテーマ:(公共交通)

< Cグループ >

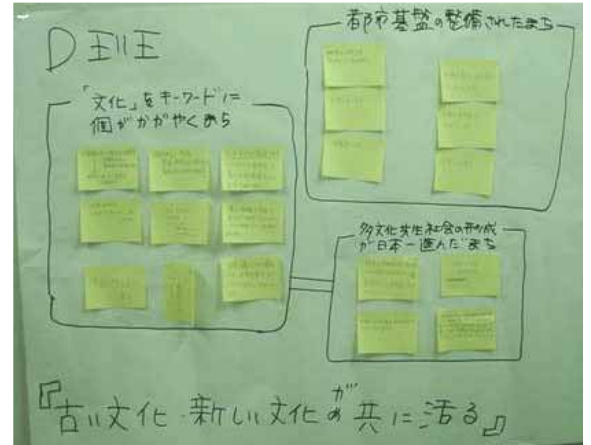
キーワード	意見
安心・安全	高齢者が安心して安全に暮らせる地域づくりを確立させる
	名実共に安心・安全なまちづくりの仕組みづくりを再構築する
	安心安全なまちづくり（災害－防災体制の強化、犯罪－防犯体制の強化）
	不安で危険のないまち（命を大切にする）（通学路にボタン式信号設置 100%実現）
	子どもから高齢者まで安全安心に暮らせ、豊かで住みよい町
	安心して暮らせるまち
	どの世代も安心して暮らせるまち（健康、環境、交通等）
	災害に強い街、安心・安全に暮らせる市（防災、防犯）
まちづくり	「共創」市の自立と市民、市民団体、企業、行政、大学との協働（政策に画して）少数精鋭の集団＝市の職員
	参加活動できるまち
	三位一体の取組み、自助共助公助で行政マンの人材化を図る
	市民の方と行政が共につくるまち（意見交換、意思の疎通ができる）
	町の中心が活性化する。観光で人の集まるまち
	「地域のことは地域で解決」できる地域力を育てたい
	外に向けての役立ち 産業立地のあり方 豊かな空間、時間（観光、リクリエーション） 災害支援（エアポート、自衛隊、技術、物質）
	思いやりのあるまち
環境	緑豊かな町、河川堤防に植林 例：桜並木
	緑豊かな安らぎのあるまち
	「環境先進都市」自然と生活、産業との調和、公共交通の充実（歩行・自転車）、エネルギー自然の恵み主体・緑いっぱい
	市民事業者の努力で「環境都市小牧」を実現したい
	環境にやさしい持続可能で再生できるシステム、発電の自立（市での発電体制づくり）
	環境宣言都市として名実とも日本一の環境都市にする
	地球温暖化防止 自動車停車中のエンジンストップ（排ガス） ゴミ焼却防止
産業	特色ある農業の推進（稲作）
	新技術革新の大学、企業の立地推進
教（共）育	社会問題に対して格差社会、人づくり（義務教育の強化、親業の教育）
	0才からの人づくりビジョンを確立したい
健康	人づくり（医療と保健・福祉の充実（予防医療））
	予防医療のため（健康づくり）健康検診を高める
財政	借金（市債発行残高現在 230 億）ゼロのまち（子孫にツケを回さない）
	税収減、人口減に対応する行政マネジメントの確立（入りを図って出づるを制する）
外国人との共生	外国人との交流、地域の問題（ゴミ等）解決
	外国人との共生と国際交流
歴史と文化	小牧の文化と伝統の継続と活用（業務教育に取り入れる一棒の手、祭り、イベント、観光化「楽市楽座」「歴史MAP」）
	歴史文化の充実した都市（小牧山、宿場町、芸術一心の充実－発進力（ハードの環境、ソフトの充実））
	伝統と新しさがとけ合い愛着や誇りの持てるまち＝<故郷・マイハート> 個々の自立と共生の安心



グループテーマ：未定

C グループ

D グループ



< Dグループ >

キーワード	意見
「文化」をキーワードに個がかがやくまち	小牧の持つ潜在力の再発見（地勢的なもの、歴史的な資産の活用） 時代にあった活性化（先取りする）
	一生誇りを持ってこのまちに住みたいと思える“まち”
	季節感のあるまち
	個性あふれる小牧市 ・ 県外、市外より注目される街 ・ 魅力ある（人口流入を見込める）街
	文化香るまち、図書館、コンサートホール。器だけでなく中身も出す
	夢のある町づくり（人が集まってくる町づくり）
	人がかがやく創造のまち（マズローの欲求の最上位自己実現を人々が目指す街）
	優れた知識や技能を有する人が地域デビューやこの人たちの活用していく仕組みがあるまち
多文化共生社会の形成が日本一進んだまち	区長に適した人が選出され、区長制度がまちづくりに本当に役立っているまち
	多文化共生社会の形成について「小牧は日本で一番先行しているまち」と言われたい
	外国人の犯罪をなくすためのサポート体制
	外国人との共生、多文化共存
都市基盤の整備させたまち	小牧市在住外国人は愛知県でも春日井市につぐ2番目に多い市です。外国人が安心して住める小牧市をつくっていく為に、不安、不満をすい出せる体制とサポートのあり方をつくり上げる
	老若男女を問わず「皆が安心して住めるまち」
	犯罪のないまち
	犯罪のないまち
	自転車で快適に走れるまち
	公園や街路樹など緑多いまち
渋滞のないまち	



グループテーマ：古い文化・新しい文化が共に生きる

アンケート回答

<感想>

- 和気あいあい良かった。
- 意見が多く出され大変よい雰囲気だった。
- いろいろな方の意見が聞けて楽しかった。
- 大変よかった（心が共に語り合えた）
- 市民の意識の高さに感心しました。このパワーを形に変えていきたいと思います。
- 意見が抽象的であるが、小牧を良くするように努力をしたい。
- 久しぶりに脳の活性化ができました。今後、まちづくりのために真剣に取り組んでいきたいと思います。
- 福祉や教育に対してたくさん意見があり、これからが楽しみです。農業なども障害のある方（知的、自閉性障害）にも十分できるのではないのでしょうか。
- 頑張ります。
- 会の内容もわからない状態で参加しました。小牧市をどうにかしたいという方々の参加の中、私自身、これからどのように成長できるか楽しみにも思いました。熱心な意見も出された。これからのまちづくりにどこまでうちとけられるか、これからです。
- 多くの熱い思いを聞くことができ、大変参考になりました。グループの中では各自の思いが語りきれない（時間がない）という感じがありました。
- 非常に良かった。（少しだけ時間が足りなかったと思う。）
- 時間が短く大変であったが、良いと思う。
- 時間が足りない。
- グループ討議の時間を充分取ってほしい。
- 説明が多く、60分の中でグループ討議時間が少ない。
- もう少し話し合いの時間がほしかった。
- ワークショップだけで2時間ほしかった。駆け足だった。
- 参加者が進行していくに際し、時間配分が理解しにくい。意見としてはかなりたくさんの方の提案が出された。
- 時間配分、会議の進行悪し。グループ分けの根拠を明らかにすれば、より深い意見が出たのではないか。
- 全体像（テーマ）を押さえなくては！グループの前提として、テーマで所属を決めたい。
- 討議テーマ（1グループ複数テーマ可）を明らかにして、メンバーを再編すべきです。（参加者はそれぞれ思いがあって参加しているので、尊重しなければならないと思います）
- グループ分けについて、最初からタイトルで分けていただいてもよかったのでは。
- A B C Dグループ分け発表されたが、各グループで同じような内容であった。考え方の同じ人でグループ化できないか。

- 自分の思っていたことがテーマとして取り上げられ、より力が入ります。
- 発言がかたよらないようにしたい。
- 小牧で育ち現在に至っています。説明される方のまとめを的確にしてほしい。
- グループ別まとめ方説明がほしかった。
- 想像以上に本格的な内容になりそうなことに驚きました。総合計画への提案ということですが、具体的なことを決めていくかというところがまだつかめていません。
- グループで意見を出して、その先どうするかなど、勉強や話し合いの行き着く先を具体的に示してください。
- 前説が早口でついていけない。資料を用意している暇がない。その割にボリュームが多い。進行の仕方については疑問。先が見えないので意見がどう反映されるのか不安。ワークショップ形式で続くのですか。
- まあ良かった。総合計画に参画するという前提であるのだから、それぞれのグループが巨象の部分に触っている。盲人のような構成では。
- まだ皮相的アプローチ。深堀の議論が必要。
- 助言を期待する。
- 個人の意見はよく出た。しかし、まとめる方向に向いていない。マイクで指示を出すときは、一旦各グループの話を中断させて指示しましょう。誰も聞いていないようなので。
- 「5ヵ年計画の策定」が目先のテーマであるから、過去の取組み方法とよく似たもので、あまり代わり映えしなかった。
- 私は高齢なので短期5ヵ年計画のスパンではあまり責任ある持ち時間はないと思う。目先5ヵ年計画云々については、若い人の意見に大方従うつもり。
- 外国人の方も参加できるようにした方がいいと思いました。
- 総合計画策定研究委員会委員が入らない方がいいのではないのでしょうか。(どうしても行政の苦情も出るので、市の立場から発言すると、市民の生の声、自由な発想を妨げる気がします)。

< 言い足りなかったこと、アイデアなど >

- 第5次総合計画の結果を総括報告してほしい。(行政側に) < 計画と結果の要因分析 >
- 第5次総合計画の進行状況とか課題等の説明があった上で進行してほしい。
- 市政の将来という目的が理解されていない。
- できればさらに長いスパンで取り組めるとよい。目先5ヵ年だけの目標では物足りない感じが強い。
- 言いたいことは全て言いました。
- もっと勉強して次回に役立てたい。
- 自給自足のできるまち。

- 人を大切にする = 弱者にやさしく。
- 障害者にできることは、できるように考え工夫してあげれば、とてもたくさんあります。働ける障害者に仕事をぜひください。